

授業科目 中国語によるコミュニケーション (自由科目)

科目コード番号	
対象学年	2
対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
必修・選択	選択
単位数	1
時間数	30

【担当教員名】 田口一郎	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【概要】 「中国語によるコミュニケーション」既習学生を対象に、日常的なさまざまな表現の範囲を広げ、基本的な語学力をつけることを目指す。日常生活でよく使う表現、文型を個々に取り上げ、模倣、記憶、応用の順序によるコミュニケーションの能力の向上を図る。				

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	今すぐ話せる中国語 入門篇	小倉憲二等	ナガセ	1998年。1200円
参考書				
その他配布資料				

【評価方法】

平常点及び授業中の小テストによる。

【履修上の留意点】

予習は不要。しかし授業中に解説した短文は全て暗記してもらうので十分な復習が要求されます。

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

実際に運用することを前提とした話し言葉としての中国語能力を習得するという、中国語コミュニケーション能力をさらに高める。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. ピンインのきちんとした発音に安定性をもたせる。
2. 「中国語によるコミュニケーション」で学んだもの以外に、さらに数十の文型を応用し、使用できる。
3. 実際の会話にふさわしい言語反応速度を養成する。
4. 重要語句の使用法を学び、文法的に安定した表現ができる。